

芸術が、身近な街中にあります

～野外彫刻を見つめてみよう～

初夏のさわやかな風が心地よい季節になりました。今月は、散歩の途中で、気軽に芸術鑑賞を楽しめる区内の野外彫刻を紹介します。



まちに住む人々の 願いを込めて

札幌市内の野外彫刻で全国的に有名なものとして、羊ヶ丘展望台の「丘の上のクラーク像」があります。実は、このクラーク像の作者坂垣道さんは、平成十年に亡くなるまで、北区にアトリエと住居を構え制作活動に取り組んでいたのです。「父はこのアトリエに足場を組んで、クラーク像を制作しました。お手伝いの若い方たちがいつもたくさん来てくださって、炊き出しなどで母も大忙しでしたね」と、坂さんの作品に囲まながら笑顔で当時の様子を語ってくれたのは、坂さんの長女加藤和子さんです。

坂さんは五十年近く住み続けた町内にも、ゆかりの野外彫刻を残しています。その一つが若草公園にある「いのち」と題された母子像です。この像は、昭和五十一年



「父は町内の方とのかかわりを大切にしながら、晩年まで熱心に制作を続けました」と話す加藤さん

※①いのち（坂垣道）
北25西7・地下鉄北24条駅から徒歩約8分
※写真の彫刻名（作家名）所在地・近隣公共交通機関

八月に交通事故で幼児が亡くなったことをきっかけに、その翌年交通安全の祈念碑として北第二町内会が中心となり建てたものです。「当初の像はポリエステル樹脂製でしたが、長年の風雪によって傷んだため、昭和六十三年にブロンズで作成直したのですよ」と加藤さんは教えてくれました。

大空へ真っすぐに向かっている母親の視線と子の両手に、出征体験に基づく坂さんの命に対する思いが込められているようです。公園を走り回る子どもたちの、かけがえない尊い命と健やかな成長を、この母子像はこれからも見守り続けることでしょう。



昭和20年に閉鎖された札幌飛行場正門跡の門柱（↓）



③ありしまたけ お
有島武郎邸跡の碑
（坂垣道）北12西3・
地下鉄北12条駅1番
出口北向



（←）②風雪碑（坂垣道）
北24西8・地下鉄北24条駅から徒歩約8分
札幌飛行場正門跡の門柱と坂さんのアトリエも同住所
アトリエの門にも作品（↓）

